

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援フォルテシモ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設内環境	・基準以上のスペースを十分確保し、バリアフリーの室内に更にフロアマットも全面使用。上下にもネット利用も可能なプロジェクター・ブルー투스対応デッキ・ピアノ・壁面を使用した磁石式ホワイトボードシート等の利用。	・常に広い室内環境を活かして活動を設定できるように、物の収納や環境設定を状況に応じて考え取り組んでまいります。
2	・プログラムを固定化せず行える柔軟な対応力	・支援の方向を多角的からアプローチを考えています。	・引き続き、より良い支援を考えスキルアップ研修を取り入れてまいります。
3	・施設を取り巻く環境	・系列施設との連携を取りながら活動に幅が出るよう取り組んでいます。積極的に戸外への活動に出かけ、学び気付き等の機会を取り入れていきます。	・引き続き、系列施設との連携、協力を行ってまいります。地域資源の活用を積極的に取り入れてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援員の益々のスキルアップが必要な、まだまだこれからの施設状況	・当施設での経験をこれから積んでいくスタートを切ったところ。	・経験を積んでいくための勉強会やスキルアップ研修の充実。
2	・安定した施設運営にはまだまだこれからの施設	・家庭環境の変化もあり、安定した職員確保が難しい。	・日々の支援への施設の安定した基盤の確立。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援フォルテシモ

公表日 2026年 2月 27日

利用児童数 2026年 2月 27日

回収数 12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					・基準以上のスペースを十分確保していることを説明しながら、今後ご利用時の状態や活動内容に合わせて工夫することで快適な環境の提供に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12				・いつも送迎時間など、柔軟に対応いただき感謝しています。	・丁寧に保護者の方への説明を行いながら、今後ご利用時にきめ細やかな対応が出来るように、手厚い配置の現状を継続出来るようにと努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					・今後も安全に配慮しながら、子ども達が安心して快適に過ごすことが出来るようにと、努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					・今後も子ども達が快適に過ごし、様々な活動に取り組むことが出来るようにと、環境整備に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					・今後も各々の子ども達のことを十分に理解しながら特性に応じた支援を行っていくことが出来るように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		・丁寧に保護者の方へ説明を行いながら、支援プログラム内容が提供する支援内容と合っているように引き続き努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					・本人の状態と、もう少しこれはできるよねというのをよく把握してくれています。 ・計画だけでなく、日々の困りごとまで対応していただき本当に助かっています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					・今後も丁寧に保護者の方に説明を行いながら、定期的にアセスメントを行い、おひとりおひとりの支援に必要な放課後等デイサービスガイドラインで示す適切な計画の作成を具体的に行って、設定いたしました具体的な支援内容に沿って支援を行ってまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					・引き続き放課後等デイサービス計画に沿った支援を丁寧に様々な活動支援で行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					・日々楽しみながら手先を使ったりする訓練をして家でできないことをしてくれています。 ・工場見学やイベントなど、とても楽しんでいきます♪
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	1	4		・長期休み時に、機会があれば交流や活動を検討したいとは思いますが、双方の予定のすり合わせ等も必要なため、現在は予定しておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				・利用する際に、丁寧に保護者の方へ支援プログラムの説明も行って、利用を開始いただけますように対応を行ってまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1				・個別支援計画を「放課後等デイサービス計画」と示しながら丁寧に保護者の方へ支援内容の説明を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	1	3		・今後も面談等の場合は勿論、保護者の方からのご相談があればその都度助言をさせていただきながら、引き続き丁寧に対応できるよう、保護者の方の支援に努めてまいりたいと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11			1		・これからも日々保護者の方とのやり取りを大切に、分かりやすく細やかにお伝えを行うことを心掛けながら、お子さまの健康や発達状況についての共通理解の徹底に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					・今後も引き続き定期的な面談等の際は勿論、保護者の方がより気軽に相談できる環境を提供して丁寧に助言等の支援対応が出来るようにと努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					・病院に行った後に、これからの方針などを共有した際に同じ感覚を持っていただいているのでとても安心していきます。 ・むしろ先生方が良く見て下さっているのでこちらが共感してしまうほどです。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	4	2	1	5		・父母の会・保護者会等の保護者同士の交流の機会を設けることは、今後も保護者の方々の必要性を勘案しながら検討いたします。家族・兄弟への支援も引き続き、保護者の方からご相談があれば丁寧に対応をし、支援を行ってまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			・利用児童や保護者の方に、相談や申し入れの状況になる前に対応の体勢が整備されており気軽に相談や申し入れが出来ることを周知徹底を心掛けて引き続き説明を行いながら、相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切にそして丁寧に対応を今後も行ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				・今後も引き続き皆さまに、意志の疎通や情報伝達の配慮がなされていると感じて頂けますように、努めてまいりたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		3	・現在、定期的な活動概要や行事予定などの通信は発信しておりません。法人のホームページを少しずつ充実させて、公式LINE等を活用しながら情報の発信に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				・今後も引き続き、個人情報の取り扱いには十分に留意して対応を行ってまいりたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12				・今後も、兵庫県や明石市が主催する研修等にも参加を行いながら、都度マニュアルの改善に取り組み、保護者の方や職員全体との情報共有を行っていき、周知徹底に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				・地震の時はこう、火事の際はこう、と、ジェスチャーを交えつつ、きちんとやったことを教えてくれています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				・今後も、安全の確保を十分行いながら安心して利用いただけますよう支援に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	・怪我せず帰ってきており、帰宅時にも発作の時のことや学校での怪我でも説明して下さりとても安心できます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				・とっても！！できています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・引き続きこれからも安心感を持って通所いただけるように支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・引き続きこれからも楽しく通所いただき帰宅後にお過ごし中の事をお家で話してもらえようように支援を行ってまいります。
						・とっても！！満足しています。 ・楽しく本人に合った支援をしてもらい成長を感じています。	・引き続きこれからも支援に満足いただきながら通所いただけるように支援を行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援フォルテシモ				公表日	2026年 2 月 27 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・基準より広い室内と小部屋を多機能型の利点を生かしながら日々の利用児童の活動に合わせてスペースを確保ができています。	・今後ご利用の児童に合わせて改善を都度行って適切な関係の保持に努めていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・ドラーパー雇用が更に充実したので、細やかに送迎対応が行える。 ・基準以上に配置し支援を充実している。	・今後も現状以上を継続できるように努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・全面バリアフリーの上に防音・衝撃吸収マットを敷き詰めて工夫をし、障害特性に配慮した生活空間としています。	・毎日バリアフリーの室内に更に敷き詰めている防音・衝撃吸収フロアマットをはがして下側の消毒・清掃を行っていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日清掃と消毒で清潔を保ち、常時換気を行い温度計・湿度計を確認して調整し心地良く活動に合わせた環境にしています。	・毎日、室内に更に敷き詰めている防音・衝撃吸収フロアマットを全面剥がして下側の消毒・清掃を行っていない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・気持ちが落ち着かない時のクールダウンや体調等不調が気になる等すぐ使用出来るよう、小部屋を準備し個別対応している。	・利用児童の状況の変化に対応して環境を整えるように引き続き努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・毎日のミーティングで支援員と話し合い、必要に応じて業務改善や支援の振り返り、改善共有が出来るよう努めています。	・広く事業所に関わる全ての職員に参画出来る時間を設けることが出来ていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・集計と意見をまとめた物を手元に、保護者の意向を把握する機会を設けて、支援員と話し合い業務改善にと活かしています。	・現時点对応が難しい内容があった場合、いつか行うことが出来るように模索しながら進めていくことを意識すること。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・都度、意見等を伺い、把握する機会を設けながら、決定した内容を共有して業務改善につなげています。	・状況によっては一同には時間が取りにくかったり、短い時間で切れ切りに設定することになってしまう場合もある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・現在は第三者による外部評価を行っていませんが、今後明石市の取り組みに合わせて実施を検討してまいりたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	・活用しているソフトのzoom研修や、国・兵庫県・明石市が主催する研修等に参加して、研修内容を支援員と共有しています。	・研修を直接会場で支援員たちが受講する機会を確保することが、なかなか難しい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・皆で事業所の強みと資源を活かしながら行える支援プログラムの作成を行い、公表をしています。	・保護者の方に公表を伝えてはいるが、支援の取り組みに安心をしているため個別支援計画よりは内容の細かな把握度が薄い。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・個々に対してのアセスメントを大切に、支援員各々の客観的で多角的な利用時の分析を活かした支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・計画を作成する際には、支援員各々の力を結集し利用時の今に合った最善の支援の為の検討を共通理解の下、行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・職員間で共有しやすいようファイリングをし、支援活動を考える際に活用しながら様々なアプローチで支援設定をします。	・事業所に関わる全ての職員間では支援計画の内容についての共有は行っていない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・施設以外での姿の把握も大切にしながら、日々設定した支援活動時の様子を細かく把握用の用紙を準備し記入しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・ガイドラインに沿って個々の児童の支援に必要な項目を適切に設定を行い、様々なアプローチによって支援を行っていくことを設定して、保護者の方にも支援の内容と方向性に満足頂いて支援を進めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・支援の方向を多角的にアプローチできる立案を皆で意見を出し合って立案をチームで行い決定しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・意欲的に参加できるような様々なアプローチで設定し、色々な経験ができるように、季節の行事も取り入れて工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・柔軟にこどもの状況に応じて個別活動と集団活動の組み合わせ方を考えながら計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・サービス提供時間前に営業時間があるので打ち合わせで確認をし共通把握でチーム力を生かして連携支援をしています。	・延長支援対応を行い始めたので、状況により全員で行う時間が限られてしまう場合がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・サービス提供時間後に営業時間があるので打ち合わせで確認をし共通把握でチーム力を生かして連携支援をしています。	・延長支援対応を行い始めたので、状況により全員で行う時間が限られてしまう場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・活動時の様子以外も利用時の気になることも記録をとり、動画も併せて支援員で把握を行い活用しながら取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・ご家族に合わせて設定を行い、しっかりと対応を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		・組み合わせさせて支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・待つ支援、選択肢を提案する支援を行って支援を進めています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・よく理解したものが代表で作成した利用時の把握している状況をまとめ参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・連携して対応できるように整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・利用時から視野に入れて支援を計画して支援員皆で共通認識の中、行っています。	・個々に対応が違っているためこちらから連絡を直接入れにくい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・連絡にはできる限りの情報提供で対応を行っています。	・事業所からは事前に情報共有と相互理解を図るための連絡を入れにくい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・対応がまだないのでこれから考えていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		・事業所からは事前に情報共有と相互理解を図るための連絡を入れにくい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・機会を設定するのが難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		・積極的に参加が難しい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		5		・日頃から写真だけでなく活動の様子を個々に動画を撮った際、送迎時等に様子をお見せしながら説明をしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・情報提供や助言等は行っているが、家族に対しての参加できる研修の機会を設定は行っていません。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・時間を取り丁寧にしています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・都度、意見を伺い移行を確認し計画を作成できるように十分時間を取り対応を行うことを大切にしています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・計画を細かく説明を行いながら同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・都度時間を設けて直接や電話・メールを利用しながら対応をおこなっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・ハロウィンの時期等のイベント時に保護者の方（家族）を施設へ招待し、保護者の方にも参加して頂き、きょうだい同士での交流などを設けたりはある。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・小さな事にも丁寧に、迅速に対応を行っています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・公式LINEを通じて細やかに対応を行っています。	・定期的に発行は難しい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・写真等でも他の児童が映り込まないようにと加工も行い十分に留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・分かりやすく個々に合わせて伝達方法をとって確認をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			・感染症の心配もある為、積極的に交流の機会は設けられていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	・様々な状況を想定して行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・近くの防災センターへ行って訓練も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・児童発達支援管理責任者が介護系・保育系の資格を保持しているため、細かく状況確認を行い情報共有を都度更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・食物アレルギー以外の動物アレルギー等の把握にもこまめに保護者の方に確認保管用の書類を記入もらい、対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画の作成を行い、職員間で必要な必要な支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・直接説明は勿論、事業所の普段使用している公式LINEやショートメッセージを利用して家族等へ取組内容を周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		・小さなヒヤリも見逃さずに報告を行い、事業所内で共有を行い、改善に向けて対策を検討して即時対応を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・言葉遣いを意識して支援を行い、虐待に繋がらないよう事前防止に研修内容を共有し適切な対応が出来るようにしています。	・多くの支援員に直接研修会場に向かう機会を確保することがなかなか難しい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・無いよう支援をしながら、どのような場合にやむを得ず行うかについて組織的に決め支援計画に記載する対応は整えている。		